

実行計画ほか2計画を  
改定しました

区立施設再編整備計画（第  
一期）・第一次実施プランを  
改定しました…………… 8

# 9ぎなみ



支えあい共につくる  
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

発行/杉並区  
編集/広報課  
〒166-8570杉並区阿佐谷南1-15-1

区の代表電話 3312-2111  
FAX3312-9911 (広報課直通)  
http://www.city.suginami.tokyo.jp/

## 区政を取り巻く変化等に 対応するために

### 実行計画・協働推進計画・行財政改革推進計画を改定しました

区は、杉並区総合計画（10年プラン）[平成24～33年度]に掲げた施策等を推進するための「実行計画」「協働推進計画」「行財政改革推進計画」（計画期間：平成29～31年度）の改定作業を進めていましたが、このたび、これらの計画を決定しました。

これらの新しい計画の概要と、改定にあたり皆さんからいただいた主なご意見、それに対する区の考え方をお知らせします。

———問い合わせは、企画課へ。



計画の概要は2・3面、皆さんからいただいた主なご意見と区の考え方は4面をご覧ください。

### 求められる 「変化」への対応力



杉並区長

田中良

「生き抜くために必要なのは、変化に対応する力」。

これは先日、スズキとの業務提携に向けた検討を開始するにあたっての会見で、トヨタ自動車の社長が述べられた言葉です。「変化に対応する力」。とてもシンプルな言葉ですが、これは企業経営のみならず、現在の区政運営にもそのまま当てはまることだと、大いに共感を覚えました。私は、変化への対応を欠いた組織は、企業であろうと自治体であろうともはや存続することはできないと考えています。

区政を取り巻く環境はここ数年大きく変化しています。私が区長に就任してからの6年間で振り返ってみても、東日本大震災の発生、消費増税、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、首都圏での保育需要の急激な増大など、実にさまざまな変化がありました。

こうした状況の中で、今後とも区民福祉の持続的な向上を図っていくためには、時代の変化を敏感に察知して、これまで以上に迅速かつ的確な対応をしなければなりません。

そして、忘れてはならないのが「長期最適・全体最適」の視点です。少子高齢化が進み、右肩上がりの経済成長が期待できない今だからこそ、常に将来を見据え、区政全体を広く見渡して、限られた資源を効果的に配分する視点が欠かせません。

区がこのたび改定した「実行計画」「協働推進計画」「行財政改革推進計画」「区立施設再編整備計画（第一期）・第一次実施プラン」は、こうした視点を踏まえて、変化への的確な対応を図るために見直しを行ったものです。

今後は、来年度の予算編成にあたって計画に関連する経費を計上し、各分野における取り組みをしっかりと前に進めていきたいと考えています。



## 目標4 健康長寿と支えあいのまち

### ■小児急病診療体制の拡充

子どもを抱える家族の医療面での不安解消を図るため、平日の夜間や休日など、一般の医療機関の診察時間外においても小児科を受診できる体制を拡充します。

### ■特別養護老人ホームの整備促進

南伊豆町との連携や、旧科学館跡地のほか国公有地などの活用により、3年間で8施設(554人定員)を整備します。

### ■旧永福南小学校跡地を活用した重度身体障害者支援施設の開設

障害者が安全・安心に充実した日々を送れるよう、区有地を活用し、入所施設および日中の活動の場を確保します(29年度開設)。

#### 【その他の主な事業】

- がん検診の推進
- 福祉と暮らしのサポート拠点(仮称)天沼三丁目複合施設の開設 など
- 長寿応援ポイント事業の見直し
- 地域包括支援センターの機能強化



## 目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

### ■保育施設・学童クラブの整備の推進

区有地や国家戦略特区制度の活用など、さまざまな手法によって保育定員数を増やし、増加する保育需要に対応します。あわせて、育成環境の充実を図るため小学校内での実施を基本に、段階的に整備を進めるなど、増加する学童クラブ需要に対応します。

### ■部活動活性化事業の拡充

引き続き、外部指導員の配置に加え、専門事業者への委託等による部活動活性化事業を拡充し、中学校における部活動の充実を図ります。

### ■杉並第一小学校等複合施設の整備

杉並第一小学校の老朽改築に合わせて、阿佐谷地域区民センターおよび産業商工会館の集会関連機能を集約することを基本に展示機能も含めた複合施設を整備し、将来を見据えた学校の教育環境の充実と施設全体の効率化を図りつつ、地域の新たな学びと交流・文化の拠点としていきます。

※この取り組みについては、杉並第一小学校近隣の病院の移転・建て替え計画が明らかになったことを受け、現在の病院用地への学校の移転・改築の可能性と、阿佐谷地域区民センターおよび産業商工会館の整備のあり方について、28年度末までに検討することとします。

#### 【その他の主な事業】

- 子ども・子育てプラザの整備
- オリンピック・パラリンピックの開催に向けた区民懇談会の開催および文化プログラムの実施
- 児童相談所の区移管に向けた体制整備の検討
- 交流自治体への新しい人の流れをつくる支援の充実 など
- 学齢期における発達障害児相談窓口の設置
- 全小中学校への特別支援教室の設置等による特別支援教育の充実



## 「協働推進計画」「行財政改革推進計画」について

参加と協働による地域社会づくりを進めるための「協働推進計画」と、分権型時代における持続可能な行財政運営を目指す「行財政改革推進計画」についても、見直しを行いました。

### 「協働推進計画」

基本構想の実現のためには、区と区民とが地域の活動やそれを担う人材を育み、地域の力を高め、支えあい、共につくる地域社会を築いていくことが必要です。

参加と協働による地域社会づくりを進めるため、以下の3つの「協働推進基本方針」に基づく「協働推進計画」の取り組みを推進します。

- 方針1 区民参加の促進～区民参加による地域社会づくり～
- 方針2 地域人材の育成と地域活動環境の充実に向けた支援～多様な主体の協働による地域の公共的な課題の解決～
- 方針3 協働を支える情報発信と、区と区民とのコミュニケーション充実～参加と協働を支える区民とのコミュニケーションの充実～

#### ●主な取り組み●

- 防犯対策の推進や消費者被害防止の取り組み
- 協働の担い手・地域人材育成の取り組み
- 地域防災力の向上
- 戦略的広報の推進
- 地域と連携・協働する学校づくりの推進
- 区政を話し合う会の実施
- 協働提案制度の実施

### 「行財政改革推進計画」

財源をはじめ限られた資源の中で、時代と共に変化・増大する区民ニーズに的確に応えていくためには、財政運営の健全性を保ちつつ、効率的な行政運営を目指す、行財政改革の不断の取り組みが必要です。

持続可能な行財政運営を推進するため、以下の5つの「行財政改革基本方針」に基づく「行財政改革推進計画」の取り組みを着実に実施していきます。

- 方針1 財政健全化と持続可能な財政運営の実現
- 方針2 効率的な行政運営
- 方針3 効率的な組織体制の構築と人材の育成
- 方針4 区立施設の再編・整備
- 方針5 分権型時代の自治体間連携などの取組推進

#### ●主な取り組み●

- 税・保険料・利用料等の収納率の向上
- 区民サービス窓口の整備
- 社会保障・税番号制度(マイナンバー)を活用した適正な賦課の実施
- 区立保育園の民営化等の推進
- 保育施設利用者負担の適正化
- 職員定数の適正化
- 隣接自治体等との連携による区民サービスの向上

各計画の詳細は、区ホームページのほか、企画課(区役所東棟4階)、区政資料室(西棟2階)、区民事務所、図書館でご覧になれます(区民事務所は29年1月13日まで。各閲覧場所の休業日を除く)。



# 実行計画・協働推進計画・行財政改革推進計画(平成29～31年度)の改定について

## ◇計画改定の経過

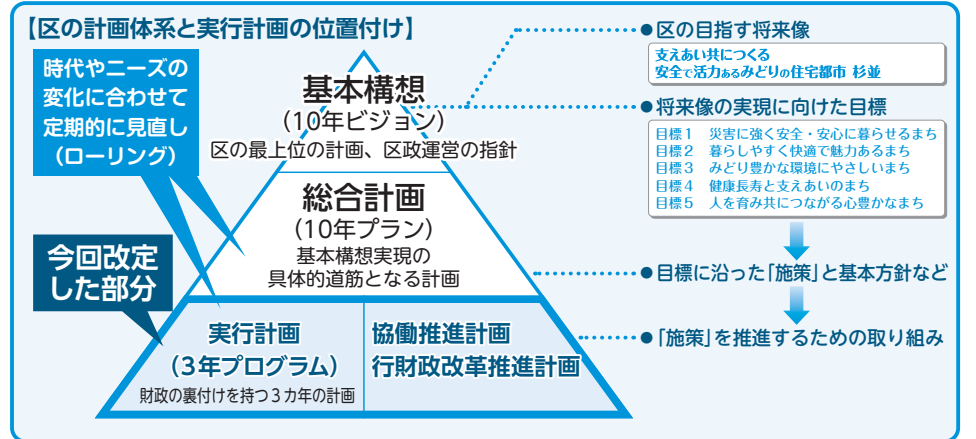
改定にあたっては、この間の社会・経済状況の変化や区民ニーズの変化等を考慮し、計画案を策定しました。

この計画案をもとに、「広報すぎなみ」9月1日号等で「杉並区区民等の意見提出手続に関する条例」による意見提出手続によって、皆さんからご意見をいただきました。その意見などを考慮しつつ長期最適・全体最適の視点に立って、計画を改定しました。

## ◇計画改定の基本方針

改定にあたっては、以下の基本方針に基づき、計画を策定しました。

- これまでの取り組みを検証し、基本構想実現に向けた道筋を明確化
- 区政を取り巻く環境の変化に適切に対応



## 実行計画(目標ごとの主な計画内容)

### 目標1 災害に強く安全・安心に暮らせるまち

#### ■ICTを活用した地震被害と減災効果の「見える化」

杉並区独自の地震被害シミュレーション結果を地図化するなど、被害想定や減災効果を「見える化」することで耐震・不燃化などの減災対策の必要性を周知し、災害に強いまちづくりを進めます。

#### ■地域の初期消火設備の充実

防災市民組織に対して交付する初期消火設備として、新たな防災資器材を追加し、地域における災害対応力を向上させます。



#### 【その他の主な事業】

- 帰宅困難者の安全を守るための一時滞在施設の確保
- 街路灯のLED化の推進 など
- 街角防犯カメラ、通学路防犯カメラの設置

### 目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち

#### ■狭あい道路の拡幅整備、支障物件の除却促進

狭あい道路の拡幅整備をさらに推進するとともに、支障物件の除却指導等により、災害時に生命と財産を守るための道路整備を進めます。

#### ■アーケード以外の全ての商店街装飾灯のLED化

安全・安心かつ環境にやさしいまちづくりを進めるため、31年度までにアーケード以外の全ての商店街装飾灯のLED化を目指します。



#### 【その他の主な事業】

- 高齢者、障害者等の民間賃貸住宅への円滑な入居支援の充実
- 地域資源やイベントを活用した杉並体験ツアーの実施
- 空家等対策の推進
- 路面表示による自転車通行空間の整備 など

### 目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち

#### ■(仮称)荻外荘公園の整備

国の史跡指定を受けた荻外荘の持つ歴史的・文化的価値を最大限活用し、整備を進めます。また、大田黒公園、角川庭園等の周辺施設とも連携しながら一体的に整備を進めます。

#### ■魅力ある公園づくりの推進

区民ニーズを踏まえて公園設備を順次リニューアルするとともに、荻窪地区など3カ所に公園をオープンし、誰もが楽しめる公園づくりを推進します。



#### 【その他の主な事業】

- 馬橋公園の拡張整備
- 小型家電、粗大ごみ等の再資源化の推進 など
- 太陽光発電機器、蓄電池などの設置助成



# たくさんのご意見ありがとうございました

区民等の意見提出手続（パブリックコメント）の結果をお知らせします

【意見提出件数】265件（延893項目） 【意見提出期間】9月1日～30日

【区立施設再編整備計画（第一期）・第一次実施プラン】

【実行計画・協働推進計画・行財政改革推進計画】

該当箇所	主な意見の概要	区の考え方
計画全体	区立施設再編整備計画・第一次実施プランに反対である。 【他、同趣旨26件】  このような大規模な計画の取り組みを進める際には、区民を参画させるべきである。 【他、同趣旨6件】	区の施設の多くは、人口増加や経済成長を背景に、昭和40年代から50年代にかけて整備されました。多くの区立施設が次々と更新時期を迎える中、少子高齢化による生産年齢人口の減少に伴い、今後、区民税収入が減少していく一方で、社会保障関係の経費はさらに増加していくことが想定され、施設の改修や改築に多くの予算を振り向けることは困難です。必要なサービスを維持しながら、持続可能な行財政運営を実現するため、区立施設再編整備計画の取り組みを進めていきます。  計画の策定に当たっては、区全体の行政需要や周辺施設の状況などを考慮し、区で一定程度、取り組みの案を示していくことが必要であると考えています。その上で、説明会やパブリックコメントなどで区民の皆さんからご意見をいただき、必要に応じて反映をしているところです。また、取り組みを進めていくに当たっては、取り組みの進捗状況や施設が地域に与える影響などを考慮しながら、より有効な区民の皆さんからのご意見の取り入れ方を検討していきます。
学校施設	統合後の杉並第四小学校跡地の活用において、次世代型科学教育の新たな拠点が計画されている。計画では30年度方針決定と記されているが、実行計画改定案では31年度具体化と記されている。2つの計画の整合性が読み取れない。  統合後の杉並第四小学校跡地の活用について、防音に配慮された阿波おどりの練習会場を作してほしい。 【他、同趣旨1件】  「座・高円寺」があるのに統合後の杉並第四小学校跡地に阿波おどりの練習会場を作ることはない。 【他、同趣旨3件】	【修正】ご指摘をいただきました2つの計画における記載内容の違いについて、第一次実施プラン改定案では、30年度に、統合後の杉並第四小学校の跡地をどのような用途に活用するか、活用方針を決定することを記述しました。一方、実行計画改定案では、31年度に、次世代型科学教育の新たな拠点ではどのようなことを実施するか、実施内容を具体化していくという趣旨から記述したものです。これらについては、誤解を招くことがないように、記述を修正します。  高円寺地域には、高円寺四大祭りをはじめ、地域の方々のさまざまなイベント・活動がありますが、それらのスペースは、需要があるにもかかわらず不足し、これまで、学校施設を活用してきました。また、阿波おどりの練習場所は、「座・高円寺」内に阿波おどりホールがあるものの、「連」の増加とともに練習会場が恒常的に不足している状況となっています。統合後の杉並第四小学校跡地の活用に当たっては、高円寺駅に至近な立地条件を踏まえ、にぎわい創出や多世代交流につながるような地域活動の場としての活用などを視野に、地域の方々のご意見をいただきながら、検討を進めていきます（なお、この取り組みについての地域からのご意見を踏まえ、一部記述を修正します）。
児童館・学童クラブ等	児童館廃止に反対である。 【他、同趣旨76件】  子どもたちが放課後の開放感を味わうためには、学校と学童クラブとは同じ場所ではない方が望ましい。学童クラブの子どもでなくても、学校が終わった後に、校庭開放以外で学校の中には入りたくないと思う。 【他、同趣旨8件】	近年、児童館では乳幼児親子や学童クラブの需要が増加する一方、中・高校生の利用は減少傾向にあるなど、利用状況が変化しています。現在の児童館施設の中で全てのサービスを実施するには十分なスペースが確保できません。こうした課題を踏まえ、児童館という施設にとらわれることなく、現在の児童館が果たしてきている機能・サービスを身近な小学校や子ども・子育てプラザなどで継承する取り組みを進めることとしました。子どもたちの健やかな成長を、将来にわたって持続可能な形で支援できるよう、また、子どもたちを取り巻く課題等にも的確に対応できるよう、区民の皆さんのご意見を伺いながら計画を着実に推進していく考えです。学童クラブについては、需要の増加に対応するため、学校の余裕教室等の活用のほか、敷地の一部や学校改築に合わせた整備などにより、児童の安全と今後の需要に応じた育成環境を確保します。また、小学生の放課後等居場所事業の実施に際しては、各学校の状況を踏まえて、教育委員会や学校と調整し、校庭や体育館、特別教室、図書室等の活用を図るとともに、学童クラブ利用児童と他の小学生との交流機会を確保するなど運営上の工夫を行い、児童の健全育成環境を一層充実させていきます。
文化・教育施設	図書館の事業は「杉並区立図書館サービス基本方針」にのっとっているが、それは「学びの場」「知の共同体」があつての「楽しい交流空間」であり、「楽しい交流空間」だけ取り上げて計画の説明をするのは間違いである。  図書館の縮小、蔵書の廃棄には必ず有識者を入れてほしい。杉並の貴重な本が廃棄される可能性があり、貸し出しが少ないというくらいだけの廃棄は反対である。これからも増えていく蔵書がきちんと整理された上で、楽しい交流場所となるのであれば賛成である。  図書館は身近な情報提供の場であるとともに、重要な文化施設であり、安易なスリム化には反対である。 【他、同趣旨28件】	【修正】図書館サービス基本方針では、今後目指すべき図書館像として、「学びの場」「知の共同体」「楽しい交流空間」としての図書館を掲げています。今後の図書館の改修・改築の際には、この図書館像の一体的な実現に努めていく考えであり、ご意見の趣旨を踏まえて、取り組み内容がより分かりやすくなるよう記述を修正します。  【修正】蔵書規模の適正化については、今後とも、司書職員が1冊1冊確認しながら丁寧に進めるとともに、所蔵資料の状態や利用状況等を踏まえつつ適切な蔵書管理を図っていきます。こうした取り組みについて、ご意見の趣旨を踏まえ、より分かりやすくなるよう記述を修正します。
庁舎等	あんさんぶる荻窪と税務署の交換に反対である。 【他、同趣旨71件】	区では、在宅での生活が困難な要介護高齢者の特別養護老人ホームへのニーズに対応するため、10年間で特別養護老人ホームを1000床増やすことを目標に施設整備を進めていますが、住宅都市である杉並区では、整備に必要な大規模な用地を確保することが課題となっています。一方、国では、荻窪税務署の老朽化による建て替えが課題となっています。あんさんぶる荻窪と荻窪税務署等との財産交換を行うことにより、区では、在宅介護を支援するショートステイなどとあわせて大規模な特別養護老人ホームと区の施設である複合施設をあわせて整備することで、区民の福祉と暮らしのサポート拠点とすることができま。また、国にとっても、既存のあんさんぶる荻窪の建物を活用し荻窪税務署を移転することで、新たな施設を建設する必要がなくなるなど、効率的な施設整備を行うことができます。このように、国および区にとって双方の課題が解決でき、かつ区民福祉の向上が図れるものと考えています。

※【修正】…いただいたご意見を踏まえて計画案を修正したものです。

いただいたご意見（要旨）と区の考え方、計画案の修正箇所と修正内容については、区ホームページで閲覧できます。そのほか、企画課（区役所東棟4階）、区政資料室（西棟2階）、区民事務所、図書館で29年1月13日までご覧になれます（各閲覧場所の休業日を除く）。

「広報すぎなみ」は新聞折り込みでの配布、そのほか区施設、区内の各駅・交番・駐在所・公衆浴場・郵便局・病院・サミットストア・コープみらい・東武ストア・ファミリーマート・サークルK・サンクス・ミニストップ・セブン・イレブン・ローソンなどにあります。「点字広報」「声の広報」のお申し込みは広報課へ。

該当箇所	主な意見の概要	区の考え方
【実行計画】目標2 施策6 4 杉並らしさを活かした観光事業の推進	杉並観光の「商品化」を促進するという用語に違和感がある。杉並の特色ある地域資源を生かして、地域の活性化やまちの経済発展につなげるといった趣旨の言葉に変えてほしい。	【修正】今後、外国人を含む来街者を一層増やしていくためには、着付けやお茶、高円寺阿波おどりなどの日本の文化・杉並の文化を体験できるプログラムを商業的に提供していく必要があることから、「商品化」と記載したものです。ご意見を踏まえ、取り組みの趣旨がより分かりやすくなるよう記述を修正します。
【実行計画】目標2 施策7 1 地域特性を活かした商店街活性化促進 ほかに	LED照明の導入は、安全・安心の環境整備だけでなく、CO <sub>2</sub> 排出量の削減・温暖化対策の効果も期待できる。商店街装飾灯をはじめとした電灯のLED化を、さらに推進してほしい。	【修正】LED照明の環境負荷低減への効果に関するご意見については、区も同様の認識であり、これらの取り組みを商店街の活性化等や区民の皆さんの環境配慮行動につなげるために、LED化の取り組みの効果をより分かりやすく周知するよう取り組んでいます。ご意見を踏まえ、本計画(案)でLED化に係る取り組みを計画化している「施策7 地域特性を活かした商店街活性化促進」「施策9 杉並産エネルギーの創出と省エネルギーの推進」および「施策3 街路灯の整備等」の3つの計画事業について、環境負荷低減の視点を踏まえて記述を修正します。
【実行計画】目標3 施策8 10 身近な公園の整備	公園をつぶすのではなく増やしてほしい。	29年度から31年度において、身近な公園の整備として（仮称）下高井戸四丁目公園（仮称）高円寺南三丁目公園（仮称）荻窪四丁目公園の整備を予定しています。併せて大規模な公園整備として（仮称）下高井戸公園などの整備を進めていきます。
【実行計画】目標5 施策22 1 保育施設等の整備	すぎなみ保育緊急事態宣言の公園の保育所転用に反対である。 【他、同趣旨39件】	これまで区は待機児童解消に向け、認可保育所を核に保育施設の整備を進めてきました。しかし、保育需要の増加により、このままでは29年4月の待機児童が560人を超える見込みとなりました。これまでの整備手法だけでは待機児童の解消が困難なことから、緊急対策として区有地・施設を活用した整備を行っていますが、やむを得ず区立公園も活用することとしたものです。
【実行計画】目標5 施策26 1 特別支援教育の充実	改定案では特別支援教育の充実の中でインクルーシブという言葉が出てこない。インクルーシブへの理解は不可欠であり、常に理解啓発を行っていくとともに実行計画にも明記されることを期待する。	【修正】共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の推進について、引き続き児童・生徒はもとより、保護者や学校関係者、地域の方々に対して理解を深める取り組みを進めていきます。ご意見の趣旨を踏まえて記述を修正します。
【実行計画】目標5 施策27 1 区立小中学校の改築	高円寺地域の施設一体型小中一貫教育校建設計画に反対である。 【他、同趣旨58件】	高円寺地域の新しい学校づくりについては、22年3月から、対象となった学校の保護者、学校関係者、地域の方々と将来に向けたより望ましい教育環境について意見交換を進めてきました。また、25年度の計画策定後も、統合することとした杉並第四小学校、杉並第八小学校、高円寺中学校の保護者、学校関係者、地域の方々による懇談会等の意見を聴きながら新しい学校づくりの具体化を進めていることを踏まえ、本計画を着実に進めていきたいと考えています。
【実行計画】目標5 施策29 2 体育施設の整備	旧永福南小学校跡地へのビーチバレーコート建設に反対である。 【他、同趣旨25件】	移転改修する永福体育館に整備予定の屋外ビーチコートについては、多様なビーチスポーツや砂場を活用して子どもから高齢者まで多世代にわたる健康増進事業を実施することができ、これまで区議会からの要望や地域の商店会からの期待等が寄せられています。今後、2020年東京オリンピックにおける外国チームの練習会場としての活用も視野に入れ、区民の健康増進と地域の活性化等に資する施設としていく考えです。
【実行計画】目標5 施策29 5 科学教育の推進	科学の拠点について、早急に検討を進めてほしい。 【他、同趣旨12件】	次世代型科学教育の新たな拠点整備については、区民が気軽に訪れて科学に親しむことのできる場として、またさらに深く科学を探究できる場として、検討・具体化していきます。
【協働推進計画】 方針1 地域と連携・協働する学校づくりの推進	杉並第四小・杉並第八小・高円寺中からなる小中一貫教育校の学校支援本部について、協働推進計画で小学校・中学校各1つの学校支援本部を計画していると理解してよいか。小中一貫教育校は、合同の学校支援本部が望ましいと考える。	【修正】高円寺地域における新たな施設一体型小中一貫教育校については、ご指摘のとおり、学校支援本部は1つ(予算は小学校1校分と中学校1校分の計2校分)とすることが望ましいと考えます。ご指摘を踏まえて記述を修正します。
【行財政改革推進計画】 方針2 区立障害者通所施設の役割の見直しと民間施設への支援	重度身体障害者施設の民間委託に反対。本来福祉の分野は、利益が得にくいから公共事業として進められてきた。安価な労働力で、この分野を賄おうとしないでほしい。施設を造ることだけでは不十分である。	【修正】障害者施設については、今後の利用者の増加に対応するため、民間事業者を中心とした新たな施設整備を推進していきます。一方で利用者が安心して施設に通所等できるよう民間施設が行う利用者支援の質を確保していくことも、ご指摘のとおり重要であると考えています。民間施設の質の確保が重要であるとの趣旨を踏まえ、民間障害者施設への支援を実施することがより分かりやすくなるよう記述を修正します。
【行財政改革推進計画】 方針2 区立保育園の民営化等の推進	保育園の民営化に反対である。 【他、同趣旨62件】	保育需要の高まりに対応するため、区は待機児童対策を精力的に進めているところですが、施設整備や運営にかかる経費が区財政を圧迫する状況となっています。そこで、国や都の補助制度を活用した民間事業者による施設整備の方式を導入することで、保育の質を維持しつつ定員を確保する必要があります。民営化にあたっては、子どもの負担をできる限り軽減するため、区と事業者との合同による保育期間を充分に設けるなどの運営上の工夫により、区立保育園のこれまでの保育をしっかりと引き継ぐとともに、保護者の理解が得られる事業者が選定できるよう、事業者の選定委員会に保護者の代表の方に加わっていただきます。
【行財政改革推進計画】 方針3 組織の改編等	区職員の給与は手当が多すぎて絶対高すぎるから、国の就労者平均給与、都・区の就労者収入の平均レベルにすべきである。 もっとコスト意識をもつべきである。	【修正】区職員の給与は、適正な水準となるよう民間給与実態調査等に基づく特別区人事委員会の勧告を踏まえ、決定しています。ご意見の手当については、国・他団体等の動向を踏まえ、これまで廃止や支給額の適正化を図ってきたところですが、効率的かつ効果的な体制となるような組織の改編を通じて、業務効率化を図り、超過勤務手当の縮減等により一層取り組んでいきます。コスト意識に関するご意見の趣旨を踏まえ、区が実施している組織改編等の取り組みの内容がより分かりやすくなるよう記述を修正します。



## 学校施設

老朽化に伴う改築を計画的に進めるとともに、学童クラブや小学生の放課後等居場所事業の機能を小学校に移転するなど、他施設との複合化・多機能化を図り、地域コミュニティの核となる施設づくりを進めます。

### ◇老朽改築に伴う近隣施設との複合化

●杉並第一小学校の老朽改築に合わせ、阿佐谷地域区民センターと産業商工会館の集会関連機能・展示機能を移転・複合化します。

※この取り組みについては、杉並第一小学校近隣の病院の移転・建て替え計画が明らかになったことを受け、現在の病院用地への学校の移転・改築の可能性と、阿佐谷地域区民センターおよび産業商工会館の整備のあり方について、28年度末までに検討することとします。



▲杉並第一小学校

### ◇学校跡地の活用方法等の検討

●統合後の杉並第四小学校の跡地は、既存の子供園の3年保育への拡充、保育所の整備、次世代型科学教育の新たな拠点としての機能を含む生涯学習環境の充実や、高円寺地域における集客力のあるイベントの実施など、にぎわい創出や多世代交流につながるような多目的な地域活動の場としての活用を視野に有効活用に向けた検討を進め、30年度に活用策の方針を決定します。

●統合後の杉並第八小学校の跡地は、特別養護老人ホーム・保育所の整備を推進するほか、老朽化している近隣の高円寺図書館の移転先として、図書館と地域コミュニティ施設との複合施設を整備することを基本に検討を進めます。また、複合施設については、乳幼児親子の居場所となるスペースの設置や、中・高校生の居場所としての活用も検討し、30年度に活用策の方針を決定します。

## ゆうゆう館・集会施設

施設の有効活用や地域コミュニティの活性化の観点から、区民集会所、区民会館、ゆうゆう館などを対象に、多世代が文化や趣味の活動等に利用できる地域コミュニティ施設に再編することとし、具体化に向けた検討を進めます。

### ◇地域コミュニティ施設への転用・再編整備の検討

●多世代が利用できる施設の実現に向けて、既に実施中のゆうゆう阿佐谷館に加え、(仮称)馬橋複合施設(ゆうゆう馬橋館の移転先)、ゆうゆう下高井戸館(下高井戸児童館内に移転予定)で、地域コミュニティ施設のモデルとなる取り組みを行いながら検討を進め、第二次実施プラン(31~33年度)で計画化します。

### ◇廃止後の区民事務所会議室の有効活用

●区民事務所会議室は、引き続き、町会などの地域団体が活動できる代替施設を確保した上で、段階的に廃止を検討・実施します。

●下高永福会議室および清沓中通会議室は廃止し、跡地を活用して保育所を整備します。



▲ゆうゆう阿佐谷館

## 図書館・体育館・庁舎等

改築時などに施設の更新費用を抑制しつつ区民ニーズに的確に対応するために、他施設との複合化・多機能化などを図ります。

### ◇高円寺図書館の移転・改築の検討

●地域コミュニティ施設などとの複合化を基本として、統合後の杉並第八小学校の跡地への移転・改築を基本に検討します。

### ◇永福体育館の移転等および跡地活用

●永福体育館は、旧永福南小学校を改修し、移転します。永福体育館の跡地には、永福図書館・地域コミュニティ施設・保育所による複合施設を整備します。

### ◇国との財産交換による(仮称)天沼三丁目複合施設の整備

●財産交換により取得する6300㎡を超える大規模用地である荻窪税務署等用地を一体的に活用し、特別養護老人ホーム棟と複合施設棟からなる「(仮称)天沼三丁目複合施設」を整備します。

### ◇本庁舎東棟改築の検討

●建物の現状や課題、周辺の官公庁の状況を踏まえ検討を進めていきます。



▲(仮称)天沼三丁目複合施設「複合施設棟」完成予想図

計画の詳細は、区ホームページのほか、企画課(区役所東棟4階)、区政資料室(西棟2階)、区民事務所、図書館でご覧になれます(区民事務所は29年1月13日まで。各閲覧場所の休業日を除く)。



# 区立施設再編整備計画・第一次実施プラン(29・30年度)の主な取り組み

改定に当たっては、26年3月に策定した第一次実施プランの各取り組みにおける課題や方向性を再精査した上で、取り組みの進捗状況にあわせ、具体化を図りました。また、取り組みを進める上で、年度間の財政負担が偏ることがないように、取り組みの緊急性や優先順位を勘案してスケジュールを精査しました。

## 保育園・子供園

就労したい方々が安心して育児と仕事を両立できる環境を整備するために、区立施設や国・都の公有財産の有効活用、国家戦略特区制度の活用により、認可保育所を核とした保育施設の整備を促進します。

### ◇区立施設の活用

- 区立施設 8カ所を活用し、民営保育所の整備を促進します。

### ◇国家戦略特区制度の活用

- 都市公園法の規制緩和により、和田堀公園（都立）敷地の一部に保育所を整備します。

### ◇国有地の活用

- 民営保育所の整備のほか、老朽化した区立保育園の移転などに活用します。



▲改築に国有地を活用した馬橋保育園  
(12月19日から運営開始予定)

## 特別養護老人ホーム等(民営施設)

介護が必要になっても住み慣れた地域で引き続き安心して生活ができるよう、区有地や国・都との連携による未利用地の有効活用により、民間事業者による特別養護老人ホーム等の高齢者施設の整備を促進します。

### ◇区立施設の跡地活用

- 特別養護老人ホーム 3カ所を整備します。

### ◇国・都有地の活用

- 特別養護老人ホーム 3カ所と、認知症高齢者グループホーム 1カ所を整備します。

### ◇荻窪税務署等用地とあんさんぶる荻窪との財産交換

- 国との財産交換により、荻窪税務署等用地を活用し、診療所や訪問看護ステーションなどを併設した特色のある大規模な特別養護老人ホームを整備します。



▲旧新泉小学校跡地を活用した  
(仮称) 新泉サナホーム完成予想図

## 児童館・学童クラブ等

児童館の利用状況の変化などを踏まえ、現在の児童館が果たしている機能・サービスを、身近な小学校や、新たな子育て支援拠点として整備を進める子ども・子育てプラザなどに継承し、充実・発展させていきます。

### ◇学童クラブおよび放課後等居場所事業の小学校内での実施

- 学童クラブは、既に実施済みの新泉・和泉に加え、下高井戸と成田西の2カ所を小学校内に移設します。
- 小学生の放課後等居場所事業は、3校で本格実施します。

### ◇子ども・子育てプラザの整備

- 新たな地域子育て支援拠点として、28年度に開設する子ども・子育てプラザ和泉のほか、2カ所の整備を行います。

### ◇中・高校生の新たな居場所づくりの検討

- 移転後の永福体育館の跡地に整備する複合施設などのスペースの活用を視野に検討を進めます。

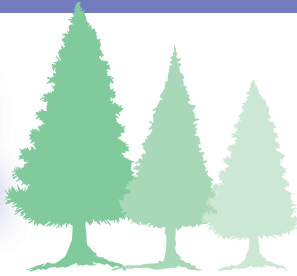


▲子ども・子育てプラザ和泉  
(12月11日から運営開始予定)

区立施設再編整備計画(第一期)・第一次実施プランを改定しました

実行計画ほか2計画を改定しました……………1

# すぎなみ



支えあい共につくる  
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

発行/杉並区  
編集/広報課  
〒166-8570杉並区阿佐谷南1-15-1

区の代表電話 3312-2111  
FAX3312-9911 (広報課直通)  
http://www.city.suginami.tokyo.jp/

## 将来にわたり必要な行政サービスを 継続して提供していくために

### 区立施設再編整備計画(第一期)・第一次実施プラン(29・30年度)を改定しました

改定に当たっては、区で作成した計画案を、「広報すぎなみ」9月1日号等でお知らせしたところ、皆さんから貴重なご意見をいただきました。これらのご意見をもとに計画案に修正を加え、計画を決定しました。

——問い合わせは、企画課施設再編・整備担当へ。

#### 区立施設を 取り巻く状況

保育需要の高まりなど  
新たな行政需要への対応

認可保育所入所申込者数の伸び  
(20年4月入園から28年4月入園)

約**2.7**倍

老朽化により次々と  
更新時期が到来

築30年以上の施設数  
(28年度末)

約**60%**

更新や維持管理のために  
多額の費用が必要

現在の規模で存続させた場合の  
今後30年間の改築・改修経費

約**2779**  
億円

少子高齢化により社会保障  
関連経費が増加

社会保障関連経費の伸び  
(17年度から27年度)

約**1.8**倍

複合化・多機能化

規模の適正化

計画的な  
再編整備

転用・貸付(売却)

長寿命化

#### 区民ニーズへの的確な対応 と必要なサービスの提供

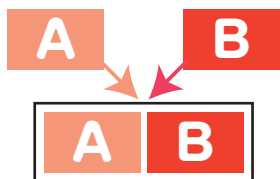


#### 再編整備はどのように進めるの?(再編整備の手法の一例)

##### 複合化・多機能化

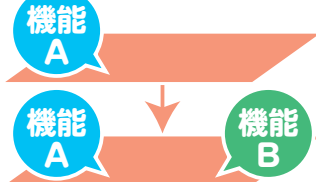
複合化・多機能化により、利便性の向上や利用者間の交流を促進するとともに、共用部の共通化による施設規模の縮減を図ります。

###### 複合化



複数の施設を一つの建物に  
集合させます。

###### 多機能化



一つの施設(スペース)に  
複数の機能を持たせます。

##### 転用・貸付(売却)

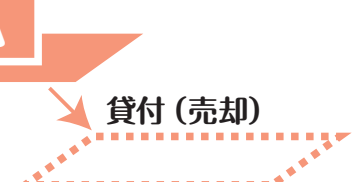
転用・貸付(売却)により、施設整備費や用地取得費などを抑制するとともに、生み出された財政効果によりその時々々の行政需要に対応していきます。

###### 転用



建物や用地を他の用途に  
活用します。

###### 貸付(売却)



具体的な取り組み内容は6・7面、皆さんからいただいたご意見と区の考え方は5面をご覧ください。